

ルーブキャット実施例

E1. JR 北海道に於けるディーゼル機関車約 900 両で稼働中

ユーザー評価

1. 燃費及び出力が従来オイルに較べ 11% 向上
2. オイル中に溶け出す鉄イオンの量が 30% 以上減少
→ 摩耗量の減少、耐用年数の増加
3. 排気の黒煙が減少しオイルフィルターのカーボン付着量が 15 分の 1 になった
→ 粘弾性流体としての性質をもつルーブキャットがピストンリングの密封性を上げるためディーゼルエンジンの燃焼性が向上し燃料の燃え残りである煤煙、ススが減るため
→ 現在 JR 北海道の機関車は **DPF** を外している

E2. NASA 宇宙ステーションの宇宙空間作業用クレーンの支持部潤滑

ユーザー評価

1. 宇宙空間ではマイナス 150 度からプラス 120 度まで温度が変化するがその温度環境で使用出来る潤滑剤はルーブキャット以外に地球上に存在しない

E3. 韓国陸軍国境警備隊戦車群

ユーザー評価

1. 冬季、南北国境付近はマイナス 48 度以下になり即時エンジンを始動させるため従来は戦車のエンジンは夜間電熱器で予熱していたがルーブキャットを採用後は予熱しなくても一発でエンジン始動が可能となった

E4. 中国石炭採掘現場

ユーザー評価

1. 従来地下採掘現場では削岩機を稼働させるためコマツのディーゼル発電機を使用しディーゼルエンジンの冷却が地下のため満足に出来ないのでエンジンが過熱し 6 時間運転しては作業を停止し冷えたらまた運転する、という非効率な採掘作業をしていたがルーブキャットを使用することにより摩擦熱の発生が減少しエンジンが過熱しなくなって 24 時間連続運転が可能となり作業効率が大幅アップした

E5. 定員 60 名 16 t 旅客船

ユーザー評価

1. 380 馬力三菱ダイヤ船舶用エンジンで使用。これまで 200 時間運転毎にオイル交換していたがルーブキャットに替えてから 3000 時間毎に交換している。3 ヶ月に一回していた交換作業が 3 年半毎に一回で済みメンテナンスが楽になった。出力も増え燃費も 1 割位向上している